

ちひろの願い 世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを

2023年3月1日(水)～5月28日(日)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室1・2

主催：ちひろ美術館



1-2 はなぐるま 1967年

今の時代に届けたい、 ちひろからの平和のメッセージ

ちひろは青春時代を戦時下で過ごし、戦後は画家として、ひとりの母親として、平和への願いを絵筆に託して子どもを描き続けました。空襲のなかを逃げまどった体験を持つちひろにとって、戦争はけっして許されるものではありませんでした。愛情に包まれた子どもの絵も、戦火にさらされた子どもの絵にも、彼女のことは「世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」という願いが込められています。ウクライナでの戦争の終わりが見えず、国際的にも軍拡の動きが進む今の時代にあって、ちひろの絵はいっそう強く、平和の尊さを訴えかけてきます。

本展では、子どもの遊びの情景やあかちゃんを描いた作品、戦争をテーマにした3冊の絵本『わたしがちいさかったときに』『母さんはおるす』『戦火のなかの子どもたち』などを展示し、ちひろの平和への願いを見つめます。



1-3 「世界中の子どもみんなに 平和と しあわせを」 1970年

展覧会の見どころ

いのちのかがやき—春の光のなかで

やわらかな春の日差しの中、いきいきと遊ぶ子どもたちの情景をとらえた作品を展示します。子どもと色とりどりの花とを組みあわせて描いたものも多く、色彩豊かな画面は、いのちのかがやきに満ちています。美術館でひとあし早く春の訪れをお楽しみください。

ちひろの歩みをたどる

自伝的絵本『わたしのえほん』で、ちひろの幼少期や空襲の戦争体験を紹介するほか、画家として自立を模索していた初期の素描、母親としてわが子をモデルにした作品などを展示し、平和への思いを紡いだちひろの人生や時代背景にも焦点をあてます。

反戦への願いを込めた3冊の絵本

広島で被爆した子どもの手記に絵をつけた『わたしがちいさかったときに』、ベトナム戦争をテーマに、戦火のなかを生きる親子を描いた『母さんはおるす』、自らの空襲体験も重ねた『戦火のなかの子どもたち』。平和への願いを込めた3冊の絵本原画が、一堂に会します。

出展作品数

約70点

主な出展作品

- ・はなぐるま 1967年
- ・「世界中のこどもみんなに 平和と しあわせを」 1970年
- ・わらびを持つ少女『あかまんまとうげ』（童心社）より 1972年
- ・赤い花を持つ少女『あかちゃんのくるひ』（至光社）より 1969年
- ・息子・猛3態 1951年
- ・見つめる少女『わたしがちいさかったときに』（童心社）より 1967年
- ・少年『戦火のなかの子どもたち』（岩崎書店）より 1973年
- ・湯あがりのあかちゃん 1971年



1-3 わらびを持つ少女
『あかまんまとうげ』（童心社）より 1972年



1-4 赤い花を持つ少女
『あかちゃんのくるひ』（至光社）より 1969年



1-5 息子・猛3態 1951年



いわさきちひろ(1918～1974)

福井県武生（現・越前市）に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。40冊あまりの絵本のほか、教科書やカレンダー、広告など主に印刷物での仕事を中心に活躍。子どもを生涯のテーマとして描き、約9600点の作品を残す。



1-6 見つめる少女
『わたしがちいさかったときに』（童心社）より 1967年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

- ※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。
- ※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。
- ※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。
- ※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 くろやなぎ たなべ 畔柳・田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773（業務用） FAX 0261-62-0774

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

ちひろ美術館コレクション

なんて世界は素晴らしいのだろう

＜同時開催＞小企画展 新規収蔵作品 つかさおさむ 司修『まちんと』

2023年3月1日(水)～5月28日(日)

会場：安曇野ちひろ美術館 展示室3・4

主催：ちひろ美術館



2-1 村上康成(日本)『ようこそ森へ』(徳間書店)より 1988年

私たちは、どのようなときに世界は素晴らしい、と感じるのでしょうか。庭に咲く小さな花を見たとき、雄大な自然のなかに身をおいたとき、驚くような芸術作品にであったとき、人のやさしさに接したとき……。国やことばは異なっても、私たち人間には共通の感性があるのかもしれない。分断ではなく、同じ人間だと感じる心こそ、今この世の中で求められているのではないのでしょうか。

絵本『ようこそ森へ』では、人が大きな自然の一部であることが鳥の視点も交えて描かれています。また、『いっしょにいたらのしいね』では、感動を分かち合う友人がいる大切さが語られます。本展では10カ国の画家たちによる絵本のための作品やことばを展示し、世界を見つめなおすきっかけとします。

2-2 クヴィエタ・パツォウスカー (チェコ)
『紙の町のおはなし』(小学館)より 1999年

展覧会の見どころ

絵本の世界、世界の絵本

絵本には、さまざまな世界が描かれています。現実とは異なる世界に接して、希望を見出すこともあるでしょう。ちひろ美術館コレクションの多彩な作品のなかから、10カ国12人の画家たちの作品を3つのキーワードに分けて紹介します。

絵本画家たちのことば

12人の画家たちによる、展示作品にまつわる話や、現在の世界への想いなどを紹介します。

あらわしてわかちあおう、私たちの想い

展示を観た方に、世界の素晴らしさを感じる時や、素晴らしい世界をつくっていくためにできることなどを考えて書いてもらい、“想いをつなぐにじみのガーランド”として館内に飾ります。

出展作品数

約70点

主な出展作品

- ・村上康成(日本)『ようこそ森へ』(徳間書店)より 1988年
- ・ポロルマー・バーサンスレン(モンゴル)『ぼくのうちはゲル』(石風社)より 2004年
- ・クヴィエタ・パツオウスカー(チェコ)『紙の町のおはなし』(小学館)より 1999年
- ・ピンバ・ランドマン(イタリア)『ジョットという名の少年』(西村書店)より 2002-2003年
- ・ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド)『いっしょにいたらたのしいね』(評論社)より 1995年
- ・武建華(中国)『舌ながばあさん』(小学館)より 2001年



2-3 ユゼフ・ヴィルコン(ポーランド)
『いっしょにいたらたのしいね』(評論社)より 1995年



2-4 武建華(中国)
『舌ながばあさん』(小学館)より 2001年



2-5 ジャン・ギョクニル(トルコ)
『わたしの庭で』より 1992年



2-6 エリック・バトゥー(フランス)
『もしもゆきがあかだったら』(フレーベル館)より
2002年

<同時開催>

小企画展 新規収蔵作品

つかさ おさむ 司修『まちんと』

広島原爆で被爆した女の子を主人公とした絵本『まちんと』のために司修が描いた作品が新たに収蔵されました。絵本のための原画全18点を、ちひろ美術館で初公開します。



2-7 司修『まちんと』(偕成社)より 1983年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 畔柳・田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail: publicity@chihiro.or.jp

「ちひろの願い 世界中の子どもみんなに平和と しあわせを」展示関連イベント

ユニセフ出前授業 「ユニセフと世界のともだち」

日時：4月23日(日) 13:30～15:30

対象：小・中学生／参加費：無料(高校生以下入館無料)／定員：30名

申し込み：要事前予約(公式サイト／TELにて)

岐阜県ユニセフ協会による出前授業を行います。世界の子どものことを知り、わたしたちの暮らしを見つめなおし、できることをいっしょに考えてみましょう。

開催中の展覧会のギャラリーツアーも行います。



指人形で遊ぶ子どもたち 1966年

そのほかのイベント

3月5日(日)松川村民感謝デー

松川村にお住まいの方に、絵本カフェのドリンクを1杯プレゼントいたします。

3月26日(日)長野県民感謝デー

長野県にお住まいの方は、入館が無料になります。

この日、安曇野ちひろ公園では、まつかわ花咲きまつりを開催します。あわせてお楽しみください。

(受付でご住所のわかるものをご提示ください。)

4月18日(火)開館記念日 ポストカードプレゼント

4月19日は、ちひろの心のふるさと、信州・松川村に当館が開館して26年目の開館記念日です。当日は水曜日で休館日のため、前日の4月18日にご来館の方全員に、ポストカード(非売品)をプレゼントします。

絵本のじかん

日時：毎月第2・4土曜日 11:30～12:00

参加費：無料(入館料別)／定員：20名／申し込み：不要(参加自由)

季節や展示にあわせた絵本の読み聞かせを、親子で楽しみましょう。

ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：3月21日(火・祝) 11:00～

参加費：無料(入館料別)

定員：20名

申し込み：不要(参加自由)

絵本カフェにて絵本の読み聞かせを楽しみましょう。コーヒーを片手に、お気軽にご参加ください。

けしの花のなかのあかちゃん
1960年代後半

安曇野ちひろ公園 イベント

まつかわ花咲きまつり

日時：3月26日(日) 9:30～15:00(予定)

会場：安曇野ちひろ公園

問い合わせ先：松川村役場経済課商工観光係 TEL.0261-62-3109

松川村の春を彩る、毎年人気のイベント。いわさきちひろの作品を色とりどりのパンジーで表現する地上絵や、パンジーの即売会、マルシェも開催します。

※上記のイベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お電話でお問い合わせください。みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学芸員によるスライドトーク

日時：3月26日(日)・4月16日(日) 14:00～15:00

(14:00～ちひろ展／14:30～コレクション展)

参加費：無料(入館料別)／定員：30名

申し込み：不要(参加自由)

学芸員が開催中の展覧会の見どころを、スライドを用いてわかりやすく解説します。

あかちゃんとおでかけしよう！
ファーストミュージアムデー

日時：4月9日(日) 10:00～11:00

対象：0歳から2歳の子どもとその保護者

参加費：無料(入館料別)／定員：親子10組

申し込み：要事前予約(公式サイト／TELにて)

あかちゃん絵本の読み聞かせや
展覧会のガイドツアーを親子で
楽しみましょう！

展覧会基本情報

展覧会名 ちひろの願い
世界中の子どもみんなに平和と しあわせを
ちひろ美術館コレクション
なんて世界は素晴らしいのだろう

会期 2023年3月1日(水)～5月28日(日)
※会期は予告なく変更になる場合があります。
○開館時間＝10:00～17:00(3月は～16:00)
○休館日＝水曜日(祝休日開館、翌平日休館)
※GWは無休

入館料 大人900円／高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上、学生の方は700円／障害者手帳ご提示の方、介添えの方1名まで無料／年間パスポート3000円

